

県名	熊本県	商工会名	八代市商工会
----	-----	------	--------

事業者名	(有)お茶の泉園
------	----------

題名	いずみ抹茶のマカロンの販売事業
----	-----------------

マカロン販売ショーケース及びパネル



マカロンイメージ

ショーケース

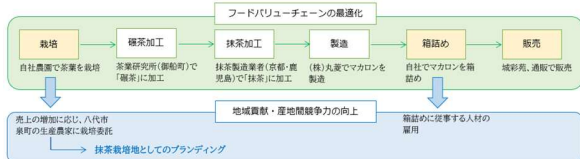
画像キャプション

氏名	木村 健
----	------

支援テーマ	
☐	創業
☐	経営革新・事業再構築
☐	地域資源活用・新連携
☐	農商工連携・6次産業
☒	販路拡大・販路支援
☐	海外展開・海外販路開拓
☐	事業再生・再チャレンジ
☐	事業承継
☐	ものづくり
☐	雇用・労務関係
☐	資金繰り
☐	持続化補助金
☐	DX・IT化支援
☐	価格転嫁
☐	事業継続計画(BCP)
☐	その他

※複数のテーマ選択可

支援前の課題
永年、自社製造のお茶を販売し、近年は熊本市の城彩苑店、熊本駅「肥後よかもん市場」店と出先を構えている。今回、自社のお茶を使った「抹茶とほうじ茶のマカロン」新規販売の相談とともに、熊本県の補助金で作業効率化や生産性・付加価値の向上に取組む事業者を支援し県内生産者の所得向上、産地間競争力の維持につなげる「令和7年度フードバリューチェーン構築推進事業補助金」(販促関係経費補助)の申請支援の要請があり、以下の点について課題を整理した。 〈購入層〉・業歴は長く、既存顧客約5千先を保有しているが、高齢化があり購買力の低下と顧客の減少が懸念される。加えて、若年層の開拓が不足している。 〈市場・環境〉・当社が取扱うような商品を好む層が高齢となり、市場規模が小さくなりつつある。 ・お茶を急須で入れて飲むスタイルが減少し、当社等が提供する玉緑茶を飲む機会が減少している。 ・当社売上構成での売上(催事含)、通販売上が苦戦している。 ・PETボトルにしたお茶やティーバッグの登場により、より手軽さが求められている。 〈商品開発〉 ・熊本市の城彩苑店と「肥後よかもん市場」店では、抹茶ソフトといった新商品を開発し好評を得たが対面での販売のみで、催事や通販で売れるお茶を使った賞味期限が長く手頃な商品開発ができていない。 ・お茶を使った若年層への販売ツールが少ない。

支援内容
・当初は、ただ漠然と販売計画を示されたため、事業のスキーム(連携体制)、マーケティング等についてヒアリングを行い、整理した内容を事業計画書に落とし込むよう、アドバイスをを行いました。これを基本として、専門家派遣を複数回実施し支援しました。具体的な内容は以下の通りです。 ・事業概要ではフードバリューチェーンの最適化の説明を追加、そのスキームを示すこととした(下図参照)。加えて、事業展開では、スキームに係る各事業者の協力を得るよう指導した。 〈下図〉  ・マーケティングでは、主力販売店での販売を想定しているため、当該店舗の顧客分析(来店者数、外国人数、年齢、販売価格帯、パッケージデザイン等)を実施した。また、将来的には、地元デパートや自社ECサイトでの販売も模索しており周知の方法等を指導した。販売にあたり、他社とは違い自社の一番茶を使用した製品を原料としていること等強みを強調することを指導した。 ・地域貢献では、新商品を取扱うことで新たな雇用を創出されること、売上が伸長することで地元お茶生産業者への栽培増産を依頼し自社で買い取ることが可能となり、生産者の売上向上、事業継続に資することを示すことを指導しました。 ・また、事業実績報告にあたっての方法についても指導を実施しました。

支援の経過	
期間	支援内容
R7年7月	ヒアリング開始
R7年7月	事業計画策定支援及び専門家派遣
R7年7月	専門家派遣及び事業計画策定支援
R7年8月	事業計画策定支援及び専門家派遣

支援内容の感想
・当初代表者は漠然としたイメージであり、相談を受ける中で様々な視点でヒアリングを行いました。そのヒアリングに基づき、専門派遣を行いより具体的なイメージを代表者が持ち、現実的で実行可能な事業計画が策定できたと感じました。